

10月29日 東地申4号 「京浜東北・根岸線で多発している「場内に対する進行の指示運転」で明らかになった
団体交渉 「企業体質」「安全意識の低下」の是正を求める緊急申し入れ」 No. 2

2. 2017年7月8日、京浜東北根岸線桜木町駅にて行われた「場内に対する進行の指示運転」に対する東京支社の認識を明らかにすること。

《会社回答》 本事象における「場内に対する進行の指示運転」安全を確保したうえでの指示であったと認識している。

↓ 主な議論 ↓

【組合】 会社回答にある「安全を確保したうえで」とは、何を根拠にしているのか。

《会社》 関係転てつ器の鎖錠と先行列車が場内進路内にあることを確認したうえで指示を行った。

【組合】 場内進路内に列車が無いことを確認してからでなければ安全の担保が取れない。「場内に対する進行の指示運転」の一斉通告を行わないこと。

《会社》 品川駅構内におけるレール折損以降、「場内に対する進行の指示運転」の一斉通告は行わないことを徹底し、教育を行っている。場内信号機故障の通告は一斉通告で行えるが、その時の指令員は取扱いの通告を先に行ってしまった。チェック表を使用しているが、他線区で違う事象等があれば、指令員同士の確認が薄くなってしまふことは発生する。情報を早く伝達することを指令室では心掛けているが、早く発信しなければという思いが混同してしまふのではないかとチェック表自体も見直しを行っている。

3. 乗務員の教育・訓練と指令からの指示に乖離があったことから、取扱いを統一し、異常時対応力の向上を図ること。

《会社回答》 これまでも東京総合指令室と関係個所で相互理解を深める機会を設け、安全・安定輸送の確保及び異常時対応力の向上に努めてきており、今後も継続していく考えである。

【組合】 確認した取扱いの周知と教育はどのように行っていくのか？また、現場で教育・訓練を行う指導担当や東大宮訓練センター、支社乗務員指導や指令室等で、意見交換ができる場を設けるべきである。

《会社》 指令のマニュアルを見直した際に、教育を行い、周知は済んでいる。指令室では、OJTを毎日行っており、他支社の事象も含めて振り返りを行っている。指令と現場での意見交換の場は定期的に設けており、現時点では、更に場を設定する考えはないが、提起があったことは受け止めている。

正しい取扱いを覚えていますか？

「場内に対する進行の指示運転」は運転士の注意力による運転です！
運転通告受領券にしっかりと記入し、間違いのないことを確認しよう！！
自らの職務に集中し、異常時に強い乗務員を目指そう！